

今年度の予算の特徴

政策主導型予算編成と  
歳出構造の見直し

前年度に引き続き、事業の選択と集中に重点をおいた政策主導型予算編成を実施し、事業の優先順位を厳格化するとともに、予算の付け替えを基本とした歳出構造の見直しに取り組みました。

一般会計は15%の増  
特別会計は2.6%の減  
企業会計は2.5%の減

今年度の一般会計の予算は738億1千万円で、前年度より10億8千900万円の増額

となりました。

特別会計予算は321億2千955万円で、前年度より8億6千954万円の減額となりました。これは職員退職手当基金会計が前年度をもって会計閉鎖することなどによるものです。

企業会計の予算は、206億6千58万円で、前年度より5億2千434万円の減額となりました。これは下水道事業会計で下水道築造費等が減額となること、また市立病院事業会計で前年度予算に医療情報システム更新事業費が計上されていたことなどによるものです。

平成26年度予算  
1,266億13万円

(単位:千円)

会計名	26年度 予算額	25年度 予算額	比較増減	増減率 (%)	
一般会計	73,810,000	72,721,000	1,089,000	1.5	
特別会計	国民健康保険事業	18,385,963	18,583,090	△197,127	△1.1
	職員退職手当基金	(閉鎖)	1,909,276	△1,909,276	△100.0
	霊園事業	89,357	85,569	3,788	4.4
	介護保険事業	11,675,487	10,630,089	1,045,398	9.8
	後期高齢者医療	1,978,746	1,791,069	187,677	10.5
	計	32,129,553	32,999,093	△869,540	△2.6
企業会計	水道事業	3,999,314	4,041,606	△42,292	△1.0
	下水道事業	6,002,912	6,206,370	△203,458	△3.3
	市立病院事業	10,454,604	10,720,171	△265,567	△2.5
	土地造成事業	55,760	55,943	△183	△0.3
	公設地方卸売市場事業	147,987	160,831	△12,844	△8.0
	計	20,660,577	21,184,921	△524,344	△2.5
合計	126,600,130	126,905,014	△304,884	△0.2	

一般会計の予算内訳

